

# 相談ネットワーク通信

## No.68 2011.4.18(月)

子育て教育なんでも相談ネットワーク 岡山市北区表町1-4-64上之町ビル3F Tel, Fax 086-226-0110

### 映画『あかね色の空を見たよ』の

### 再上映について

フリースペースあかねスタツフ一同

代表 徳方宏治

覚えていらっしゃるかもしれません。映画「あかね色の空を見たよ」は、ほぼ10年前に岡山の市民の自主的な製作運動によってつくられた、全国的にも珍しい映画です。そして、完成後、文部省(当時)の特選や第2回岡山芸術文化賞グランプリを受賞したりし、10万人以上の観客を動員した輝かしい実績を持っていることを。

ご承知のように、現在、不登校やひきこもりの状況は、映画が制作された当時と変わらなればかりか、一層深刻な様相を呈しています。それだけに、こうした問題に正面から向き合った本格的な作品として、映画「あかね色の空を見たよ」は、現在ますます存在価値

を高めています。しかし、最近では一部の学校で上映される以外はほとんど上映されることもなくなりました。現在、私たちの「フリースペースあかね」がフィルムを保管していますが、このような映画を過去のものとして忘れ去るのは大変もつたない、という思いを日頃から持っています。

そこで、このたびこの映画を再上映していただくことを県下のいろいろな教育団体を中心に各方面の方々に呼びかけることにしました。

「フリースペースあかね」は、不登校の子どものための居場所として誕生し、今年で10年目を迎えました。最近では、子どもだけではな

く若者や子育てに悩む親たちにとっても、「心のオアシス」とも言っべき大切な居場所になつております。その財政面の多くを映画「あかね色の空を見たよ」の上映資金に負つてきました。が、その資金も残り少なくなったため、居場所としての存続が危ぶまれております。

それだけに今回の再上映運動によって得られた資金を、あかねの存続に役立てたいということを考えています。

以上のような趣旨をご理解いただき、是非上映にご協力いただければ大変嬉しく思います。

＜申込先＞フリースペースあかね  
岡山市北区関西町3-11  
TEL・FAX 086-256-7122  
e-mail fs-akane@poi.oninet.ne.jp  
＜上映費＞1人500円 最低料金 10万円  
小規模で上映希望の場合はご相談に応じます

しんくほう こうじ



# おかやま朝まるステーション

## 難波一夫さん 出演

2010年11月25日(休)、26日(金) ①



テーマ音楽

「おはようございます。お目覚めいかがですか。お変わりなければ何よりですが!。……」

おかやま朝まるステーション、週の後半のお相手は、滝沢忠孝です。どうぞよろしくお願ひします。そして、木曜日・金曜日のお客様ですけれども、ちょっと読ませていただきます。

「難波先生は、どんな人ですか?と尋ねられたら、私たちは『それは、デッカい白い頭と、目の覚めるような大きな声。そして、決して怖くはないけど、迫力のある顔』と、まず答えます。『高松農業高校の生徒さんです。難波先生、まずはご感想を!」

難波 その通りですね。——いま、とても真っ赤になつていらつしやいます。照れていらつしやる? 難波 はい。照れますね。

「白髪なだけに、よけいにポーつと顔が紅潮されておりませうけれど……。子育て・教育なんでも相談ネットワーク代表世話人の難波一夫さん、今日のお客様です。どうぞよろしくお願ひします。」

難波 よろしくお願ひします。——たしかに、大きな、でっかい白い頭と、メカメカいぶん大きなフレイムで……。トレードマークで? 難波 そうですねえ。なんとなく、これできました。

——そして、今日お召しなのは、まるで高松生の詰襟のようなタイアのジャケット。難波 そうですねえ。めんどうくさいので、ネクタイをするのがだんだんイヤになりました。できるだけ簡単な服装を心がけております。

「滝沢さん、おはようございます。今朝は子育て・教育なんでも相談ネットワークの難波先生でしたね。先生、お元気ですか?」というメールが届いています。 難波 はい、元気ですよ。とっても元気です。

——えー、80と1歳と伺いましたけれども、お元気です。「50歳台の私、主婦です。高松農業高校の卒業生です。子育てのときは、電話相談したこともありませう。一度お会いしたいなあ、なんて。相変わらず大きなお声なんですよ。寒くなりませうが、お体に気をつけてくださいわ。」

難波 顔が浮かんできますね。いろんな子

どもたちの顔が……。その中のどの子かなあーと思いつながら、いま聞いております。

「難波先生のいりところをいっぱい放送してくださいね」。どうぞ、みなさん、お楽しみになっておいでだと思えますけど、今日はその子どもさんたちの作文もまたぜひご披露願いたいと思います。子育て・教育なんでも相談ネットワーク代表世話人、おなじみの難波一夫先生とこのあと1時間ご一緒です。

CM NEWS

——さて難波先生……  
難波 はい。

——倉敷でとんでもないできごとがありました

た。このあとお伝えします。一緒にぜひお聞きください。

山陽新聞ニユースです。

きのう倉敷市で女子中学生が刃物で刺されて死亡し、17歳の兄が逮捕されました。

きのう午後3時35分頃、倉敷市の女性から近くに住む孫が包丁で刺されたと、119番通報がありました。倉敷警察署の署員が駆けつけると、14歳の中学3年の女子生徒が自宅洗面所で血を流して倒れており、間もなく死亡が確認されました。そばにいた無職の17歳の兄が犯行を

認めため、倉敷警察署は殺人未遂の疑いで現行犯逮捕し、殺人容疑に切り替えて調べています。警察によりますと、事件直前に妹と口論になったとみられ、「バカにされたのでカッ」となつてやった」と供述しています。親族らによりますと、少年は中学時代からひきこもりがちだったといひ、親族の家に一時預けられていましたが、数日前に自宅へ戻っていたといふことです。少年は昨日午後3時25分頃、自宅で妹を殺害しようといふ刃物で刺した疑いがもたれています。倉敷警察署によりますと、一家

は4人暮らしで、当時、両親は不在でした。少年は電話で母親に犯行を打ち明け、祖母が119番したといふことです。倉敷警察署は、家庭内トラブルや犯行の経緯を捜査するとともに、遺体を司法解剖して死因を調べます。

別のNEWS CM

——さて、難波先生、「バカにされたので、カッとなつてやった」。17歳の兄が中学3年14歳の妹を刺し殺すといふできごとです。倉敷でおきました。

難波 そうです。ねえ。この子……お兄ちゃん、どんな子ども

であったのかというのが、もう一つ分かりませんが、無職の少年であった、17歳ということ、中学校を卒業したあと高校へも行かない、あるいは行けないで、家の中にこもりがちであったということの中で起きたということに、大きな原因の一つがあるように思われますね。

——先生のお叱には、いろいろと学校へ行けない子どもさんたちからの、あるいは親御さんからの相談というのは、ずいぶん多く寄せられると思いますけど、ひきこもった状態で、いろいろなものか

(4面つづく)

(3面(つづき))

ものの中にも溜まっていくというようなことが言えますか。

**難波** そうですね

え、子どもの状況を見たときに、例えば、子どもの心の中を私なりに分析してみますとね、子どもがイライラする、ムカムカする、それからドキドキする、モヤモヤする、さびしい、むなししいなど、こういう気持ちがある、子どもたちの心の中にいっぱい詰まっていると思っんですね。いま言ったことが象徴的にいえるのは子どもたちがよく言う言葉でいいますと、「むかつく」「いらつく」。それだけでは自分の気持ちがい表

せないから、前に「チョーミカ」「チョーイラ」と言いますよね。あるとき、保育園に行きましてこんな話をしておりますね、園長先生が「先生、そんなの古いですよ」と言われましてね。「なんで古いんですか」と聞いたからね、「いまの子は、チョー」と「ムカ」の間にも一つ言葉を入れる。「どういんですか?」と聞きましてね、「チョーミラクルイラック」という。「保育園の子ですか?」と聞きなしたらね、「保育園の子がです。きつとお兄ちゃん・お姉ちゃんと言ってるのを聞いて、それで言ってるのに違くない。その子

が、「園長先生「チョーミラクルイラック」いうてどういうこと?」と私に聞くんですよ」とおっしゃったことがありましてね。それぐらうい、イライラ・ムカムカする気持ちをいっぱい持った子があるわけなんです。その中に「通りありましてね、イライラ・ムカムカを友達がいて、友達と話せる子。この子どもたちは、自分の気持ちよかっただ、「ぼくの気持ち、わかってくれた」ということになっていく。これを「行動化」と言っんです。

「オレも一緒」「おまえも一緒だ」。

**難波** 「おめえ、算数分かったか?」「分からんのだじや!」「おめえもか」「ワイもじや」。こういう話を子ども同士しながら、やっぱり共通の問題として、大人だつてどうだと思っんですね。「今日、会社でなんかムカツクことがあつてな」「あんたもそうなん?」「私もよ」「じや、帰りにコーヒーでも飲んで帰ろうか」、そういう話になつてね、それで、気が落ち着いて「ああ、今日は良かった」という形でストレスを解消していく。これが「行動化」で、親友もそういう形の中でできてくる。

でも、もう一方で、そういう「行動化」でできない子どもたちがあつたんです。「身体化」というんです。つまり、からだの中に溜め込む。だから、それをいっぱい溜め込んで、そしてそれが、お腹が痛いことになつたり、頭が痛くなつたり、熱が出たり、それでもって学校へ行けない、あるいは逆に、学校へ行かないことでそういうものがでてくるというふうな、二つの傾向がありますね、片一方がひきこもりになり、片一方が問題行動になつていく、こういう分かれ方をすると思っんですね。

「一つ間違えれば、とんでもないことになりかねないほど溜まっていく」。

**難波** そういふことです。

(つづく)

# これからの夫婦の過ごし方

岡山市議会議員

## 竹 永 光 恵

先日、ある女性ばかりの集まりで、子どもが集立った後の夫との過ごし方が話題になった。私も最近の最大の悩みである。子どもたちが昨年からみんな会社人になり、気がつけば夫と二人。ミニ旅行や、休日のお出かけ。久しぶりに二人だけになってみると、「こんなにも私たちあわなかったのか？」と改めて気づくことがいっぱい。

見たいもの、したいこと、行きたいところ、何もかも違つのだ。おまけに向き合つて話をすると喧嘩になることもし。そんな話をその集まりですると、みんなそこをのりこえたぞうで…。

「50代のまだ体力のあるうちに犬を飼つたら、夫婦仲がよくなつたの。子どもの病院にはついで来たことがなかった夫も、いま犬を抱いて二人で病院通うもの」とか。「エセお遍路さんで、一泊ぐらいでドライブがてら行くと結構いいよ」など。みんな工夫しているのだ！

1. 合わないものは無理にあわせない。たとえば映画。私はロマンチックなものが好き、夫はアクション。映画鑑賞まで一緒に行き、見たい映画は別れて入り、終わって「飯だけ一緒に行く。」

2. 向き合わず、横並びで話す。車では運転席と助手席、家でモリビングのソファに横並びで、お互い相槌上手になること。本気で向き合つて議論すると喧嘩になるので…。

その様子を見た息子が「最近、なんかいい感じじゃん、いつも横並びで」と。「そうよ！若いカップルのように見つめあう時代は消んだのよ！ お互い同じ方向を見てればいい感じだよ！ 未来志向夫婦と呼んで」と私。「勝手に言ってるー」と冷たい視線の子どもたちに、ほどほどにいい感じの私たちなのであった。

(たけなが みつえ)



### かたしのこと

ネットワー  
ク通信ありがとうございます。  
ざいます。お世話になっ  
た娘(長女)も今年30才になり  
ました。今は元気で県立図書館  
にて事務の仕事をして頂いて  
います。10年ひと昔、いえもう  
15年たちました。先生方の  
ご健康とご多幸をお祈り  
申し上げます。  
(O)

通信  
No.67を有意  
義に読みまし  
た。(Y)  
先生お元気  
ですか。ご活  
躍をお祈りし  
ます。(O)  
毎日、  
ご苦労様  
です。(R)  
世話になり、  
大変ありがとう  
ございます。(S)

いつもあり  
がとうございま  
す。ひとりは大学  
生になりましたが、  
あと二人(…)、めざ  
す子ども像を参考に  
しながら、子育てを  
していきたいと思いま  
した。これから寒さ  
にむかいます。(O)  
自愛くださいま  
せ。(O)

通信を読ませて  
いただいています。我が子の  
不登校、おかげで何とかなりま  
した。中学校という職場での、発達  
障害、貧困などで、スボイルされて  
いる子どもたち…このままではいけ  
ないのではと思います。活動大変  
だと思えます。応援したい  
です。(E)

厳し  
い寒さに  
なってきたま  
した。相談員  
の皆様お体に気  
をつけて。皆様  
の心の暖かさを  
待っている人達  
がたくさんお  
られると思  
います。  
(T)

先日、  
校内の研修会(人権  
で、久しぶりに堂野博之さん  
(映画「あかね色の空を見たよ」の  
原作者にして、モデルでもある。現  
在は興譲館高校の教育相談員をされてい  
る)をお招きして、講演をお聞きしまし  
た。「不登校・登校拒否」といったことが  
社会的にまだ認知されていないかつ時代の  
堂野さんのものがき苦しんだ中からの自立  
に到るお話は、あらためてこの問題にか  
かわる原点を思い出させてくれまし  
た。逆に、いまクラスにいる生徒  
たちへの自分の対応を見直し  
させられました。(O)

私の子ど  
も達は現在、  
全員働いていま  
すが、一人は学校  
にも行きながら働い  
ております。私はP  
TAの役員もしてい  
ますが、子ども達の  
方がしっかりしてい  
ります。皆さんこ  
れからも元気で  
活躍ください  
い。(H)

寒くなりました皆様方  
のご健康をお祈りしていま  
す。(O)



## パソコンを設置しました

—メール相談ができます—

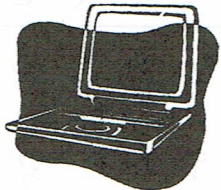
「相談ネットワーク」では、念願であ  
ったパソコンを設置し、メール相談もで  
きるようにいたしました。これで電話相  
談以外の相談も可能になりました。

ホームページも  
できるだけ早く開  
設したいと考えて  
います。

メール相談や投  
稿をお待ちしてい  
ます。

メールアドレス

soudan-net@vivid.ocn.ne.jp



## 長編ドキュメンタリー映画 戦没画学生慰霊美術館 無言館

上映会と  
「無言館」主窪島誠一郎さんの講演

三木記念ホール

5月29日(日) 10時30分～ 上映  
13時～14時 講演  
14時30分～ 上映

くらしき健康福祉プラザ

6月11日(土) 10時30分～ 上映  
14時～ 上映  
18時30分～ 上映

前売券 1000円 小中高障 800円

# スウェーデンからの手紙

## ——マイスター奮闘記——(4)

一年前になりますが、マイスター学校の仲間にスウェーデンで働いているドイツ人がいました。彼の名前はローラント。パンについていろいろ語り合った良き友です。一度学校でスウェーデンのパンを披露してくれたこともあります。彼と意気投合し、試験終了後にスウェーデンに遊びに行くことになりました。

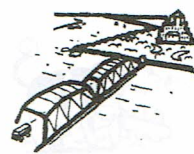
試験からの解放感とともに、夏休み気分とはまさにこのこと。天気は快晴。彼の車でアウトバーンをひたすら北へと走り、キールの港からはフェリーに乗り込み、バルト海、そしてデンマークの海峡をいくつも越えながら、一日掛けてスウェーデンの港湾都市 Göteborg (ヨーテボリ) を目指し

ました。船の上ではこれまで聞いたことのない国の言葉がいろいろと飛び交っていました。人々の顔立ちもドイツ人とは雰囲気がいやほやほや異なり、船内の食堂のメニュー表にもドイツ語と英語に並んでスウェーデン語が登場してききました。手持ちのユーロを船内で両替して、スウェーデンの通貨クロネも初めて手にしました。夏至を過ぎたばかりで北欧の夕日はなかなか沈みません。日が長いからなのか、その晩はすぐには寝付くことができませんでした。さあ、いよいよ明日はスウェーデンだ。ところで、僕はスウェーデン語を聞いてももちろん全く分かりませんが、読むと多少割くらしいは

意味が取れます。同じゲルマン語派に属するので、スウェーデン語はドイツ語と以ているのです。驚きましたが、ちょっと嬉しかったです。ちなみに、フィンランド語は北欧言語の中で唯一異なる語族に属します。後に知り合うスウェーデンの人達も、ノルウェーとデンマークの言葉は何となく分かるけど、フィンランド語だけは全く理解できないと言っていました。僕はどの言葉も分からないので、へえーという感じでした。

ヨーテボリに到着して郊外へ出ると、青く晴れた空の下に草原、畑がどこまでも広がっていて、さらにその向こうには森を見る事ができました。白と赤のコントラストが鮮やかなスウェーデン独特の民家が緑の畑の上に点在するようになっています。何て気持ちのいい国なんだろう。

ローラントから聞いて驚いたのですが、スウェーデンには日本やドイツよりも広い国土にわずか900万人の人々が暮らしています。人口の大半は首都ストックホルムをはじめ南部に集中しており、多くの湖があり、緑豊かな美しい国です。ちょうど季節も良かったので、他のEU国からキャンピングカーでバカンス



(80面じつじつ)

## (7面のつぎ)

にやってくる家族連れをたくさん見ました。

豊かな森の風景を車窓から眺めていると、IKEAがスウェーデンで生まれた理由が分かる気がしました。

森の中の舗装された道路を車で走っている、いくつかの郵便受けが一箇所に集まって立っているのが時折見られました。その向こうには森のさらに奥に分け入るような細い道が続いていて、道の入り口にその先の民家のポストが集められているのです。確かに番地の間隔があまりに離れすぎていると配達も大変だし、住民が必ず通る場所なら効率的だと

思いました。

今回のスウェーデン夏休み計画の目玉はパン屋での研修です。

スウェーデンで最も小さい自治体であるMunkfors(ムンクフォース)という町を抜け、ここから川沿いの道路をさらに北上してようやく今回お世話になるパン屋さんGustafsons Bageri(グスタフソンズベーカリー)に着きました。赤と白を基調としたスウェーデン風のがわいらしい小さなお店ではパンの他にも有機の製品をいろいろと販売していて、すぐ隣に併設する厨房では店主のローシユとグスタフソン氏とドイツ人の女性のパン職人イングリットが工房

の石釜でパンを焼いています。ローラントが一時働いていたお店です。

ここはローシユが生まれ育った田舎町の集落で、彼はパンを買いにやってくる地元のお客さんをみんな知っているようでした。中には用もないのにただハローとやってくる友人や近所の人もたくさんいました。地元の人から愛されている彼の人の柄でしょうか。

北ドイツ出身のイングリットは家具職人としての資格も持っていますが、パン職人として勉強し直し、自然で体に優しい環境を求めてスウェーデンに移住してきたそうです。彼女は唯一僕がドイツ語で気軽に話せる相手であり、よく夕食にも呼んでくれました。また僕がローシユとたどたどしい英語で話している困った時には、彼女の通訳で随分助けてもらいました。

その日の夕方、ローラントと僕はローシユの自宅へ案内されました。メスの飼いやギ「リサ」が出迎えてくれ、柵の向こうでは2頭の牛がこちらをじっと見ていました。古い木造民家で水道もガスもなく、井戸から水を汲み、薪コンロでお湯を沸かして料理もします。おそろくどの家庭にも普通にあつたパンを焼く石釜、その脇には暖炉もあります。ローシユの彼女が料理を振舞ってくれ、森の古民家での素敵な夕食の時間でした。最後に僕はギターを演奏させてもらいました。

最初の数日間の寝泊りは、ローシユの家のすぐ近くの古いペンションでした。僕は基本的に静かなところが好きですが、あまりに人里から離れて静か過ぎるのも逆に不安になり、背後に広がる森の夜の静けさや突然聞こえる牛の鳴き声を不気味に思うことがありました。ローラントが帰った後は、パン屋の裏地に停められている口





ーシユのキャンピングカーが僕の寝床となりました。このキャンピングカーは運転席のなれコンパクトな住居にただタイヤがついているだけのタイプで、寝ている間に悪い人がこつぞり車のフックに引っ掛けて僕をどこか遠くに連れ去りはしないだろうかと、またも不安な夜を過ごしたものです。

さて、パン屋の厨房では洗った物に掃除、片付け、これらをここでお世話になっている僕がすべき仕事だと思つてとにかく率先してやりました。天然酵母種や粉、生地感触、石釜の扱いやいろいろなものを見直し、生地を分割して成型する作業もいつか日本で作りたいです。

また、ローシユからの要望もあって僕もパンを作らせて頂きました。まずはバケツ、低温長時間発酵で多加水のバケツを石釜でどうしても試してみたいので。おいし

いものが出来上がりました。次にドイツのブレッツェル、蒸気を注入することのできない高温の石釜ならばブレッツェルの焼成に適しています。ローシユもグレッツェルに感動した様子で、僕としても紹介できて嬉しかったです。他にも試してみ

たかったパンを3種類くらゐ焼きましたが、彼とパンに対する意見交換ができたのはとても良かったです。また、翌日焼くパンのために石釜に薪をくべて熱し始めるのは、何と前日のお昼頃です。熱いよく燃え上がる炎で450℃に達した釜は、徐々に温度を下げながら釜全体を暖め、翌日午後3時頃に最初のパンが釜に投入されます。それからみんなで朝食を取る8時くらいまで、何度も釜がいつぱいになりま



す。これだけのパンの量を薪の余熱だけで焼き続けるには、それ相應の薪の量と時間を掛けて分厚い石の壁面を十分に熱しなければなりません。もしも短時間で釜を熱しただけなら、石の表面がセンチの厚さにしかならず、充分な余熱を得ることができないので

ある雨上りの早朝、「ちよつと手を休めようか」とローシユ。川

向こうの森から昇ろうとする柔らかな朝日が雲を静かにそして鮮やかに照らし出し、ま

さに息を呑むような光景に3人もしばし時間を忘れてただ立ちすくんでいました。自然と

微笑みが浮かび、大きく空気を吸って、今日

は何だかいつもよりおいしいパンができそう

な、そんな気がした朝

(10面(10/11))

(6)面(5)じき

でした。

またある日の午前中、「今日も朝からまた」とイングリット。何やらけたたましいトラクターの音が主要道路をのろのろと走るオートブンカーから聞こえてきます。どうやら近所のどろ息子がトラクターのエンジンを車に取り付けて遊んでいるようでした。スウェーデンの田舎の平日ものどかなものだなあ。



踏みた休日、近くの湖に蒸気船があると言ったので連れて行ってもらいました。スウェーデンでは船も蒸気、つまりは薪の力で走るのかと半分あきれてしまいました。この船は19世紀に作られたもので、長い間湖底に沈んでいたものを20、30年ほど前にこの土地の熱い男達が引き上げ、再び走れるように修理したそうです。案内してくれた気のいいおじさんは「俺も昔この船を引き上げた馬鹿の一人だ」と得意気に船の話をしてくれました。イングリットがその都度ドイツ語に訳してくれたので僕も理解できました。

小さくてレトロな機関室の脇には薪が積み込まれ、黒い鉄の煙突は橋の下を通る際は手

作業で横に倒さなければなりません。乗り心地はとても良かったです。

ローシユ、ローラントと3人で近くの湖に手漕ぎボートを出して釣り上げた大きな魚、ボートの上で乾杯したビール、味のやたら小骨が多かったその魚をイングリットと料理して頑張って食べたこと、ここで体験した全ての楽しいエピソードは書ききれませんが、最高の北欧での夏休みでした。マイスター試験頑張ったよかったです。最後の3日間、現在ローラントが働くパン屋や、首都ストックホルムも訪ねる事もできました。

客人のように親切に

してくれた。パン屋のローシユ、イングリットはもちろんだ、今回のスウェーデン滞在を実現させてくれたローラントにはいくら感謝しても足りません。本当にありがたう。彼は最後に僕を迎えにもう一度車で来てくれました。

去年のクリスマスには彼らにシュトレンを送りました。ローラントには、将来ぜひ日本に遊びに来て欲しいと伝えてあります。胸を張ってまたどこかで友と再会できる、そんな未来予想図に思いを馳せながら、明日も我が町で頑張っていいパンを作ります。

2010年6月15日  
29歳を迎えた抱負として  
日高晃作

**は** げしい地揺れと大津波。そして放射能汚染。これらはすべて明らかでない。

**な** んとこの人災を予見し、根本的な対策を迫った政党があったのです。

**み** みを傾けなかつた政府や政党は決して想定外ですまされません。

**ず** つと先を盲通したその政壇に頭を下げ、教えてもらいなさい。そして着実に実行してください。

**き** ようも、東北関東では人災との戦いが続いているのです。

(N)

